

# あけましておめでとう

香南市長 清藤真司



新年明けましておめでとうございます。  
市民の皆さまには、穏やかに新春をお迎えることと、心よりお慶び申し上げます。

本年は「午年」です。馬には、しっかりと大地を踏みしめ荷を運ぶ力強さと、たてがみをなびかせ、颯爽と駆ける勢いがあります。そういう馬にあやかり、市民の皆さまとともに躍進できる年であることを願っております。

市長に就任して二度目のお正月を迎えました。激しく揺れ動く社会情勢の中、地方財政は厳しさを増しております。そのため、市の財政運営は、事業手法や費用対効果を見極めた編成を心がけ、昨年は重点施策である南海トラフ巨大地震

震対策や香南市の将来の在り方を示す「まちづくりブランドデザイン」の策定に取りかかりました。どちらも大きな課題ですので、じっくり検討を重ねつつ、スピード感を持って取り組んでまいりたいと思っております。

本年三月には高知東部自動車道、香南のいちインターチェンジから香南ががみインターチェンジまでが開通いたします。開通により、芸西西インターチェンジ間の起終点が国道55号に直結することから、利便性も良くなり、時間短縮や国道の渋滞緩和を図ることができそうです。香南市内の交通の流れも変わることから、これからの香南市の交通網体系の在り方について、まちづくりブランドデザインの中で検討して行く予定です。

市長就任後、補助金の不正受給や酒気帯び運転、職務以外での個人情報開覧による私的な使用など、度重なる職員の不祥事がありました。市民の皆様

さまからの信託こそが公務の大前提である中、市全体の業務遂行における信用を著しく失墜させたことは大変遺憾であります。公務員としての基本に立ち返り、職員とともに取り組んでまいりますので、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が皆さまにとりまして、幸多き年でありますようご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

平成二十六年 元旦



明けましておめでとうございます。

今年の新年のご挨拶は、家族そろって野市町に引っ越してきたご報告です。やっと、私と母、妻、長男、犬のポッキーの四人と一匹そろって香南市民になりました。よろしくお願いたします。

ということで、私の今年のテーマは、「香南市民の皆が家族」です。親しみや温かみを感じられ、楽しく元気のあるまちを、皆さまと共に作り上げたいと思っています。

これから何度となく皆さまの元に出かけまいります。膝を交えていろんなお話をお聞かせください。ご一緒に香南市の未来を語りましょう。

皆さまにとりまして、今年もより良い明日へつなげる年となりますことをお祈り申し上げます。

香南市副市長 野中明和



## 学びつづける力

あけましておめでとうございます。

「生きることは、学びつづけること」  
学校での学びはもちろんのこと、生涯に渡って学び続けることの大切さと楽しさ、そのための環境整備の必要性。「子どもに夢、青年に希望、高齢者に生きがい」のキャッチフレーズには、こうした意味が込められていると思います。

国の教育改革が一層加速される一年になると予想されますが、皆さまと共に「熟慮・決断・実行」していきたいと思っております。今年もよろしくお願いたします。

香南市教育長 女園多賀賀田

